

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230562001101	科目番号 / Course code	05620011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 11111_024		
授業科目名 / Course title	●健康科学 (P1・P2) / Health Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 木下 郁夫 / Kinoshita Ikuo, 小川 さやか / Ogawa Sayaka, 吉村 篤利 / Yoshimura Atutoshi, 山本 太郎 / Yamamoto Taro, 森藤 香奈子 / Morifuji Kanako, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 中道 聖子 / Nakamichi Seiko, 中田 奈々		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古林 正和 / Kobayashi Masakazu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 木下 郁夫 / Kinoshita Ikuo, 小川 さやか / Ogawa Sayaka, 吉村 篤利 / Yoshimura Atutoshi, 山本 太郎 / Yamamoto Taro, 森藤 香奈子 / Morifuji Kanako, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 中道 聖子 / Nakamichi Seiko, 中田 奈々		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	P1・P2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masakazu-f328▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	保健センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2213		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16時~17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。		
授業到達目標/Course goals	感染症に対する理解を深めるとともに,生涯に亘る健康の維持・増進のために,「健康とは何か」を考え,青年期から適切な生活習慣を確立することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎週の授業ごとの課題 (レポートあるいは小テスト) により評価する。各週のレポートあるいは小テストは,10点満点で評価し, 8回の合計が80点満点のうち6割 (48点) 以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	講義で取り扱うテーマについて、中学校で学習したレベルでよいので、自身の興味ある範囲で予備知識を整理しておく。毎回授業後に課題 (レポートもしくは小テスト) を提出することが復習となる。(4h)		
キーワード/Keywords	健康, 予防, 感染症, 生活習慣, ライフサイクル, 心の健康, 青年期の性, 歯周病		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書の指定はない。 プリント資料, スライド, ビデオ, 事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類, 各自の入学時健康診断結果等を使用する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	健康科学の講義は全てオンライン（オンデマンドもしくはリアルタイム）で実施。 オンライン講義の実施方法（オンデマンドかリアルタイム）はLACSにて連絡予定。
学生へのメッセージ/Message for students	課題（レポートもしくは小テスト）の提出がなければ出席したと見なされないので、出席したら必ず課題を提出してください。全8回しかありません。8回中3回以上の未提出があると「失格」となってしまいます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	中道 聖子/長崎大学病院総合診療科での勤務経験、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 山本 太郎/長崎大学熱帯医学研究所での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 森藤 香奈子/小児病棟での勤務経験、子育て支援センターでの発達・子育て相談事業、患者・家族会への参画/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 中田 奈々/内科医師（呼吸器科）、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 泉川 公一/長崎大学感染制御センター長、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 古林 正和/長崎大学病院内科での勤務経験、糖尿病診療/糖尿病診療での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 吉村 篤利/歯科医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 木下 裕久/長崎大学病院精神科での勤務経験/保健医療専門職として、対象地域および集団の特性を把握し、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 小川 さやか/長崎大学保健センターでの勤務経験/公認心理師として実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 木下 郁夫/長崎県赤十字血液センター所長/長崎県赤十字血液センター所長の実務経験を活かして、本授業で取り上げる生活習慣病としての「がん」の要因には、B型およびC型肝炎ウイルスといった血液を介した感染があり、血液についての基本的知識およびそれと関連した長崎県内の輸血や献血の現状について、血液の専門家からの講義。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 / 4月10日	感染症関連：総論
第2回 / 4月17日	感染症関連：感染症の歴史
第3回 / 4月24日	感染症関連：性感染症（青年期の性）
第4回 / 5月8日	感染症関連：細菌・ウイルス・真菌・寄生虫
第5回 / 5月15日	感染症関連：感染制御・予防・治療
第6回 / 5月22日	：青年期に健康を考える ：歯と歯ぐきの健康
第7回 / 5月29日	：心の健康（1）うつ病関連 ：心の健康（2）ストレスマネジメント
第8回 / 6月5日	：生活習慣病 ：血液

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230562001102	科目番号 / Course code	05620011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 11111_024		
授業科目名 / Course title	●健康科学 (E1~E4) / Health Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 木下 郁夫 / Kinoshita Ikuo, 小川 さやか / Ogawa Sayaka, 山本 太郎 / Yamamoto Taro, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 中道 聖子 / Nakamichi Seiko, 本多 直子 / Honda Naoko, 山下 恭徳 / Yamashita Yasunori, 中田 奈々		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古林 正和 / Kobayashi Masakazu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 木下 郁夫 / Kinoshita Ikuo, 小川 さやか / Ogawa Sayaka, 山本 太郎 / Yamamoto Taro, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 中道 聖子 / Nakamichi Seiko, 本多 直子 / Honda Naoko, 山下 恭徳 / Yamashita Yasunori, 中田 奈々		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	E1~E4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masakazu-f328▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	保健センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2213		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16時~17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。		
授業到達目標/Course goals	感染症に対する理解を深めるとともに,生涯に亘る健康の維持・増進のために,「健康とは何か」を考え,青年期から適切な生活習慣を確立することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎週の授業ごとの課題 (レポートもしくは小テスト) により評価する。各週の課題は,10点満点で評価し,8回の合計が80点満点のうち6割 (48点) 以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	講義で取り扱うテーマについて、中学校で学習したレベルでよいので、自身の興味ある範囲で予備知識を整理しておく。毎回授業後に課題 (レポートもしくは小テスト) を提出することが復習となる。(4h)		
キーワード/Keywords	健康, 予防, 感染症, 生活習慣, ライフサイクル, 心の健康, 青年期の性, 歯周病		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書の指定はない。 プリント資料, スライド, ビデオ, 事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類, 各自の入学時健康診断結果等を使用する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	健康科学の講義は全てオンライン（オンデマンドもしくはリアルタイム）で実施。 オンライン講義の実施方法（オンデマンドかリアルタイム）はLACSにて連絡予定。
学生へのメッセージ/Message for students	課題（レポートもしくは小テスト）の提出がなければ出席したと見なされないので、出席したら必ず課題を提出してください。全8回しかありません。8回中3回以上の未提出があると「失格」となってしまいます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	中道 聖子/長崎大学病院総合診療科での勤務経験、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 山本 太郎/長崎大学熱帯医学研究所での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 本多 直子/小児病棟での勤務経験、子育て支援センターでの発達・子育て相談事業/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 中田 奈々/内科医師（呼吸器科）、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 泉川 公一/長崎大学感染制御センター長、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 古林 正和/長崎大学病院内科での勤務経験、糖尿病診療/糖尿病診療での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 山下 恭徳/歯科保存治療室での勤務経験/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 木下 裕久/長崎大学病院精神科での勤務経験/保健医療専門職として、対象地域および集団の特性を把握し、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 小川 さやか/長崎大学保健センターでの勤務経験/公認心理師として実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 木下 郁夫/長崎県赤十字血液センター所長/長崎県赤十字血液センター所長の実務経験を活かして、本授業で取り上げる生活習慣病としての「がん」の要因には、B型およびC型肝炎ウイルスといった血液を介した感染があり、血液についての基本的知識およびそれと関連した長崎県内の輸血や献血の現状について、血液の専門家からの講義。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 / 4月11日	感染症関連：総論
第2回 / 4月18日	感染症関連：感染症の歴史
第3回 / 4月25日	感染症関連：性感染症（青年期の性）
第4回 / 5月9日	感染症関連：細菌・ウイルス・真菌・寄生虫
第5回 / 5月16日	感染症関連：感染制御・予防・治療
第6回 / 5月23日	：青年期に健康を考える ：歯と歯ぐきの健康
第7回 / 5月30日	：心の健康（１）うつ病関連 ：心の健康（２）ストレスマネジメント
第8回 / 6月6日	：生活習慣病 ：血液

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230562001103	科目番号 / Course code	05620011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 11111_024		
授業科目名 / Course title	●健康科学 (K1~K3) / Health Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 木下 郁夫 / Kinoshita Ikuo, 小川 さやか / Ogawa Sayaka, 佐々木 規子 / Sasaki Noriko, 山本 太郎 / Yamamoto Taro, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 中道 聖子 / Nakamichi Seiko, 中田 奈々, 尾崎 幸生 / Ozaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古林 正和 / Kobayashi Masakazu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 木下 郁夫 / Kinoshita Ikuo, 小川 さやか / Ogawa Sayaka, 佐々木 規子 / Sasaki Noriko, 山本 太郎 / Yamamoto Taro, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 中道 聖子 / Nakamichi Seiko, 中田 奈々, 尾崎 幸生 / Ozaki		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	K1~K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masakazu-f328▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	保健センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2213		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16時~17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。		
授業到達目標/Course goals	感染症に対する理解を深めるとともに,生涯に亘る健康の維持・増進のために,「健康とは何か」を考え,青年期から適切な生活習慣を確立することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎週の授業ごとの課題 (レポートもしくは小テスト) により評価する。各週の課題は,10点満点で評価し,8回の合計が80点満点のうち6割 (48点) 以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	講義で取り扱うテーマについて、中学校で学習したレベルでよいので、自身の興味ある範囲で予備知識を整理しておく。毎回授業後に課題 (レポートもしくは小テスト) を提出することが復習となる。(4h)		
キーワード/Keywords	健康, 予防, 感染症, 生活習慣, ライフサイクル, 心の健康, 青年期の性, 歯周病		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書の指定はない。 プリント資料, スライド, ビデオ, 事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類, 各自の入学時健康診断結果等を使用する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考/Remarks	健康科学の講義は全てオンライン（オンデマンドもしくはリアルタイム）で実施。 オンライン講義の実施方法（オンデマンドかリアルタイム）はLACSにて連絡予定。
学生へのメッセージ/Message for students	課題（レポートもしくは小テスト）の提出がなければ出席したと見なされないで、出席したら必ず課題を提出してください。全8回しかありません。8回中3回以上の未提出があると「失格」となってしまいます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	中道 聖子/長崎大学病院総合診療科での勤務経験、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 山本 太郎/長崎大学熱帯医学研究所での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 佐々木 規子/認定遺伝カウンセラー、助産師/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 中田 奈々/内科医師（呼吸器科）、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 泉川 公一/長崎大学感染制御センター長、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 古林 正和/長崎大学病院内科での勤務経験、糖尿病診療/糖尿病診療での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 尾崎 幸生/長崎大学病院歯科保存治療室での勤務経験/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 木下 裕久/長崎大学病院精神科での勤務経験/保健医療専門職として、対象地域および集団の特性を把握し、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 小川 さやか/長崎大学保健センターでの勤務経験/公認心理師として実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 木下 郁夫/長崎県赤十字血液センター所長/長崎県赤十字血液センター所長の実務経験を活かして、本授業で取り上げる生活習慣病としての「がん」の要因には、B型およびC型肝炎ウィルスといった血液を介した感染があり、血液についての基本的知識およびそれと関連した長崎県内の輸血や献血の現状について、血液の専門家からの講義。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 / 4月12日	感染症関連：総論
第2回 / 4月19日	感染症関連：感染症の歴史
第3回 / 4月26日	感染症関連：性感染症（青年期の性）
第4回 / 5月10日	感染症関連：細菌・ウイルス・真菌・寄生虫
第5回 / 5月17日	感染症関連：感染制御・予防・治療
第6回 / 5月24日	：青年期に健康を考える ：歯と歯ぐきの健康
第7回 / 5月31日	：心の健康（１）うつ病関連 ：心の健康（２）ストレスマネジメント
第8回 / 6月7日	：生活習慣病 ：血液

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230562001104	科目番号 / Course code	05620011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 11111_024		
授業科目名 / Course title	●健康科学 (M1~M3) / Health Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 木下 郁夫 / Kinoshita Ikuo, 小川 さやか / Ogawa Sayaka, 山本 太郎 / Yamamoto Taro, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 中道 聖子 / Nakamichi Seiko, 本多 直子 / Honda Naoko, 中田 奈々, 尾崎 幸生 / Ozaki Yukio		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古林 正和 / Kobayashi Masakazu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 木下 郁夫 / Kinoshita Ikuo, 小川 さやか / Ogawa Sayaka, 山本 太郎 / Yamamoto Taro, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 中道 聖子 / Nakamichi Seiko, 本多 直子 / Honda Naoko, 中田 奈々, 尾崎 幸生 / Ozaki Yukio		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	M1~M3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masakazu-f328▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	保健センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2213		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16時~17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。		
授業到達目標/Course goals	感染症に対する理解を深めるとともに,生涯に亘る健康の維持・増進のために,「健康とは何か」を考え,青年期から適切な生活習慣を確立することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎週の授業ごとの課題 (レポートもしくは小テスト) により評価する。各週の課題は,10点満点で評価し,8回の合計が80点満点のうち6割 (48点) 以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	講義で取り扱うテーマについて、中学校で学習したレベルでよいので、自身の興味ある範囲で予備知識を整理しておく。毎回授業後に課題 (レポートもしくは小テスト) を提出することが復習となる。(4h)		
キーワード/Keywords	健康, 予防, 感染症, 生活習慣, ライフサイクル, 心の健康, 青年期の性, 歯周病		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書の指定はない。 プリント資料, スライド, ビデオ, 事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類, 各自の入学時健康診断結果等を使用する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考/Remarks	健康科学の講義は全てオンライン（オンデマンドもしくはリアルタイム）で実施。 オンライン講義の実施方法（オンデマンドかリアルタイム）はLACSにて連絡予定。
学生へのメッセージ/Message for students	課題（レポートもしくは小テスト）の提出がなければ出席したと見なされないで、出席したら必ず課題を提出してください。全8回しかありません。8回中3回以上の未提出があると「失格」となってしまいます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	中道 聖子/長崎大学病院総合診療科での勤務経験、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 山本 太郎/長崎大学熱帯医学研究所での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 本多 直子/小児病棟での勤務経験、子育て支援センターでの発達・子育て相談事業/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 中田 奈々/内科医師（呼吸器科）、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 泉川 公一/長崎大学感染制御センター長、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 古林 正和/長崎大学病院内科での勤務経験、糖尿病診療/糖尿病診療での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 尾崎 幸生/長崎大学病院歯科保存治療室での勤務経験/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 木下 裕久/長崎大学病院精神科での勤務経験/保健医療専門職として、対象地域および集団の特性を把握し、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 小川 さやか/長崎大学保健センターでの勤務経験/公認心理師として実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 木下 郁夫/長崎県赤十字血液センター所長/長崎県赤十字血液センター所長の実務経験を活かして、本授業で取り上げる生活習慣病としての「がん」の要因には、B型およびC型肝炎ウィルスといった血液を介した感染があり、血液についての基本的知識およびそれと関連した長崎県内の輸血や献血の現状について、血液の専門家からの講義。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 / 4月12日	感染症関連：総論
第2回 / 4月19日	感染症関連：感染症の歴史
第3回 / 4月26日	感染症関連：性感染症（青年期の性）
第4回 / 5月10日	感染症関連：細菌・ウイルス・真菌・寄生虫
第5回 / 5月17日	感染症関連：感染制御・予防・治療
第6回 / 5月24日	：青年期に健康を考える ：歯と歯ぐきの健康
第7回 / 5月31日	：心の健康（１）うつ病関連 ：心の健康（２）ストレスマネジメント
第8回 / 6月7日	：生活習慣病 ：血液

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230562001105	科目番号 / Course code	05620011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 11111_024		
授業科目名 / Course title	●健康科学 (T1~T3) / Health Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 木下 郁夫 / Kinoshita Ikuo, 小川 さやか / Ogawa Sayaka, 佐々木 規子 / Sasaki Noriko, 山本 太郎 / Yamamoto Taro, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 中道 聖子 / Nakamichi Seiko, 山下 恭徳 / Yamashita Yasunori, 中田 奈々		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古林 正和 / Kobayashi Masakazu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 木下 郁夫 / Kinoshita Ikuo, 小川 さやか / Ogawa Sayaka, 佐々木 規子 / Sasaki Noriko, 山本 太郎 / Yamamoto Taro, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 中道 聖子 / Nakamichi Seiko, 山下 恭徳 / Yamashita Yasunori, 中田 奈々		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	T1~T3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masakazu-f328▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	保健センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2213		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16時~17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。		
授業到達目標/Course goals	感染症に対する理解を深めるとともに,生涯に亘る健康の維持・増進のために,「健康とは何か」を考え,青年期から適切な生活習慣を確立することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎週の授業ごとの課題 (レポートもしくは小テスト) により評価する。各週の課題は,10点満点で評価し, 8 回の合計が80点満点のうち6割 (48点) 以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	講義で取り扱うテーマについて、中学校で学習したレベルでよいので、自身の興味ある範囲で予備知識を整理しておく。毎回授業後に課題 (レポートもしくは小テスト) を提出することが復習となる。(4h)		
キーワード/Keywords	健康, 予防, 感染症, 生活習慣, ライフサイクル, 心の健康, 青年期の性, 歯周病		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書の指定はない。 プリント資料, スライド, ビデオ, 事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類, 各自の入学時健康診断結果等を使用する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	健康科学の講義は全てオンライン（オンデマンドもしくはリアルタイム）で実施。 オンライン講義の実施方法（オンデマンドかリアルタイム）はLACSにて連絡予定。
学生へのメッセージ/Message for students	課題（レポートもしくは小テスト）の提出がなければ出席したと見なされないの、出席したら必ず課題を提出してください。全8回しかありません。8回中3回以上の未提出があると「失格」となってしまいます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	中道 聖子/長崎大学病院総合診療科での勤務経験、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 山本 太郎/長崎大学熱帯医学研究所での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 佐々木 規子/認定遺伝カウンセラー、助産師/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 中田 奈々/内科医師（呼吸器科）、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 泉川 公一/長崎大学感染制御センター長、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 古林 正和/長崎大学病院内科での勤務経験、糖尿病診療/糖尿病診療での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 山下 恭徳/歯科保存治療室での勤務経験/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 木下 裕久/長崎大学病院精神科での勤務経験/保健医療専門職として、対象地域および集団の特性を把握し、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 小川 さやか/長崎大学保健センターでの勤務経験/公認心理師として実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 木下 郁夫/長崎県赤十字血液センター所長/長崎県赤十字血液センター所長の実務経験を活かして、本授業で取り上げる生活習慣病としての「がん」の要因には、B型およびC型肝炎ウイルスといった血液を介した感染があり、血液についての基本的知識およびそれと関連した長崎県内の輸血や献血の現状について、血液の専門家からの講義。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 / 4月13日	感染症関連：総論
第2回 / 4月20日	感染症関連：感染症の歴史
第3回 / 4月27日	感染症関連：性感染症（青年期の性）
第4回 / 5月11日	感染症関連：細菌・ウイルス・真菌・寄生虫
第5回 / 5月18日	感染症関連：感染制御・予防・治療
第6回 / 5月25日	：青年期に健康を考える ：歯と歯ぐきの健康
第7回 / 6月1日	：心の健康（１）うつ病関連 ：心の健康（２）ストレスマネジメント
第8回 / 6月8日	：生活習慣病 ：血液

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230562001106	科目番号 / Course code	05620011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 11111_024		
授業科目名 / Course title	●健康科学 (T7~T9) / Health Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 藤田 和佳子, 木下 郁夫 / Kinoshita Ikuo, 小川 さやか / Ogawa Sayaka, 山本 太郎 / Yamamoto Taro, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 中道 聖子 / Nakamichi Seiko, 松裏 貴史 / Matsura Takashi, 中田 奈		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古林 正和 / Kobayashi Masakazu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 藤田 和佳子, 木下 郁夫 / Kinoshita Ikuo, 小川 さやか / Ogawa Sayaka, 山本 太郎 / Yamamoto Taro, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 中道 聖子 / Nakamichi Seiko, 松裏 貴史 / Matsura Takashi, 中田 奈		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	T7~T9		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masakazu-f328▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	保健センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2213		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16時~17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。		
授業到達目標/Course goals	感染症に対する理解を深めるとともに,生涯に亘る健康の維持・増進のために,「健康とは何か」を考え,青年期から適切な生活習慣を確立することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎週の授業ごとの課題 (レポートもしくは小テスト) により評価する。各週の課題は,10点満点で評価し,8回の合計が80点満点のうち6割 (48点) 以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	講義で取り扱うテーマについて、中学校で学習したレベルでよいので、自身の興味ある範囲で予備知識を整理しておく。毎回授業後に課題 (レポートもしくは小テスト) を提出することが復習となる。(4h)		
キーワード/Keywords	健康, 予防, 感染症, 生活習慣, ライフサイクル, 心の健康, 青年期の性, 歯周病		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書の指定はない。 プリント資料, スライド, ビデオ, 事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類, 各自の入学時健康診断結果等を使用する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考/Remarks	健康科学の講義は全てオンライン（オンデマンドもしくはリアルタイム）で実施。 オンライン講義の実施方法（オンデマンドかリアルタイム）はLACSにて連絡予定。
学生へのメッセージ/Message for students	課題（レポートもしくは小テスト）の提出がなければ出席したと見なされないで、出席したら必ず課題を提出してください。全8回しかありません。8回中3回以上の未提出があると「失格」となってしまいます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	中道 聖子/長崎大学病院総合診療科での勤務経験、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 山本 太郎/長崎大学熱帯医学研究所での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 藤田 和佳子/助産師/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 中田 奈々/内科医師（呼吸器科）、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 泉川 公一/長崎大学感染制御センター長、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 古林 正和/長崎大学病院内科での勤務経験、糖尿病診療/糖尿病診療での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 松裏 貴史/歯科保存治療室での勤務経験/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 木下 裕久/長崎大学病院精神科での勤務経験/保健医療専門職として、対象地域および集団の特性を把握し、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 小川 さやか/長崎大学保健センターでの勤務経験/公認心理師として実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 木下 郁夫/長崎県赤十字血液センター所長/長崎県赤十字血液センター所長の実務経験を活かして、本授業で取り上げる生活習慣病としての「がん」の要因には、B型およびC型肝炎ウイルスといった血液を介した感染があり、血液についての基本的知識およびそれと関連した長崎県内の輸血や献血の現状について、血液の専門家からの講義。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 / 4月13日	感染症関連：総論
第2回 / 4月20日	感染症関連：感染症の歴史
第3回 / 4月27日	感染症関連：性感染症（青年期の性）
第4回 / 5月11日	感染症関連：細菌・ウイルス・真菌・寄生虫
第5回 / 5月18日	感染症関連：感染制御・予防・治療
第6回 / 5月25日	：青年期に健康を考える ：歯と歯ぐきの健康
第7回 / 6月1日	：心の健康（１）うつ病関連 ：心の健康（２）ストレスマネジメント
第8回 / 6月8日	：生活習慣病 ：血液

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230562001107	科目番号 / Course code	05620011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 11111_024		
授業科目名 / Course title	●健康科学 (E5~E7) / Health Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 大西 真由美 / Ohnishi Mayumi, 木下 郁夫 / Kinoshita Ikuo, 小川 さやか / Ogawa Sayaka, 吉村 篤利 / Yoshimura Atutoshi, 山本 太郎 / Yamamoto Taro, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 中道 聖子 / Nakamichi Seiko, 中田 奈々		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古林 正和 / Kobayashi Masakazu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 大西 真由美 / Ohnishi Mayumi, 木下 郁夫 / Kinoshita Ikuo, 小川 さやか / Ogawa Sayaka, 吉村 篤利 / Yoshimura Atutoshi, 山本 太郎 / Yamamoto Taro, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 中道 聖子 / Nakamichi Seiko, 中田 奈々		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	E5~E7		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masakazu-f328▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	保健センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2213		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16時~17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。		
授業到達目標/Course goals	感染症に対する理解を深めるとともに,生涯に亘る健康の維持・増進のために,「健康とは何か」を考え,青年期から適切な生活習慣を確立することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎週の授業ごとの課題 (レポートもしくは小テスト) により評価する。各週の課題は,10点満点で評価し,8回の合計が80点満点のうち6割 (48点) 以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	講義で取り扱うテーマについて、中学校で学習したレベルでよいので、自身の興味ある範囲で予備知識を整理しておく。毎回授業後に課題 (レポートもしくは小テスト) を提出することが復習となる。(4h)		
キーワード/Keywords	健康, 予防, 感染症, 生活習慣, ライフサイクル, 心の健康, 青年期の性, 歯周病		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書の指定はない。 プリント資料, スライド, ビデオ, 事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類, 各自の入学時健康診断結果等を使用する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	健康科学の講義は全てオンライン（オンデマンドもしくはリアルタイム）で実施。 オンライン講義の実施方法（オンデマンドかリアルタイム）はLACSにて連絡予定。
学生へのメッセージ/Message for students	課題（レポートもしくは小テスト）の提出がなければ出席したと見なされないの、出席したら必ず課題を提出してください。全8回しかありません。8回中3回以上の未提出があると「失格」となってしまいます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	中道 聖子/長崎大学病院総合診療科での勤務経験、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 山本 太郎/長崎大学熱帯医学研究所での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 大西 真由美/行政保健師（公衆衛生看護活動）ならびに国際保健医療協力の実務経験/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 中田 奈々/内科医師（呼吸器科）、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 泉川 公一/長崎大学感染制御センター長、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 古林 正和/長崎大学病院内科での勤務経験、糖尿病診療/糖尿病診療での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 吉村 篤利/歯科医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 木下 裕久/長崎大学病院精神科での勤務経験/保健医療専門職として、対象地域および集団の特性を把握し、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 小川 さやか/長崎大学保健センターでの勤務経験/公認心理師として実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 木下 郁夫/長崎県赤十字血液センター所長/長崎県赤十字血液センター所長の実務経験を活かして、本授業で取り上げる生活習慣病としての「がん」の要因には、B型およびC型肝炎ウイルスといった血液を介した感染があり、血液についての基本的知識およびそれと関連した長崎県内の輸血や献血の現状について、血液の専門家からの講義。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 / 10月2日	感染症関連：総論
第2回 / 10月16日	感染症関連：感染症の歴史
第3回 / 10月23日	感染症関連：性感染症（青年期の性）
第4回 / 10月30日	感染症関連：細菌・ウイルス・真菌・寄生虫
第5回 / 11月6日	感染症関連：感染制御・予防・治療
第6回 / 11月13日	：青年期に健康を考える ：歯と歯ぐきの健康
第7回 / 11月20日	：心の健康（１）うつ病関連 ：心の健康（２）ストレスマネジメント
第8回 / 11月27日	：生活習慣病 ：血液

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230562001108	科目番号 / Course code	05620011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 11111_024		
授業科目名 / Course title	●健康科学 (G1~G3・L1) / Health Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 木下 郁夫 / Kinoshita Ikuo, 小川 さやか / Ogawa Sayaka, 吉村 篤利 / Yoshimura Atutoshi, 山本 太郎 / Yamamoto Taro, 森藤 香奈子 / Morifuji Kanako, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 中道 聖子 / Nakamichi Seiko, 中田 奈々		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古林 正和 / Kobayashi Masakazu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 木下 郁夫 / Kinoshita Ikuo, 小川 さやか / Ogawa Sayaka, 吉村 篤利 / Yoshimura Atutoshi, 山本 太郎 / Yamamoto Taro, 森藤 香奈子 / Morifuji Kanako, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 中道 聖子 / Nakamichi Seiko, 中田 奈々		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	G1~G3・L1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masakazu-f328▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	保健センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2213		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16時~17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。		
授業到達目標/Course goals	感染症に対する理解を深めるとともに,生涯に亘る健康の維持・増進のために,「健康とは何か」を考え,青年期から適切な生活習慣を確立することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎週の授業ごとの課題 (レポートもしくは小テスト) により評価する。各週の課題は,10点満点で評価し,8回の合計が80点満点のうち6割 (48点) 以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	講義で取り扱うテーマについて、中学校で学習したレベルでよいので、自身の興味ある範囲で予備知識を整理しておく。毎回授業後に課題 (レポートもしくは小テスト) を提出することが復習となる。(4h)		
キーワード/Keywords	健康, 予防, 感染症, 生活習慣, ライフサイクル, 心の健康, 青年期の性, 歯周病		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書の指定はない。 プリント資料, スライド, ビデオ, 事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類, 各自の入学時健康診断結果等を使用する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	健康科学の講義は全てオンライン（オンデマンドもしくはリアルタイム）で実施。 オンライン講義の実施方法（オンデマンドかリアルタイム）はLACSにて連絡予定。
学生へのメッセージ/Message for students	課題（レポートもしくは小テスト）の提出がなければ出席したと見なされないので、出席したら必ず課題を提出してください。全8回しかありません。8回中3回以上の未提出があると「失格」となってしまいます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	中道 聖子/長崎大学病院総合診療科での勤務経験、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 山本 太郎/長崎大学熱帯医学研究所での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 森藤 香奈子/小児病棟での勤務経験、子育て支援センターでの発達・子育て相談事業、患者・家族会への参画/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 中田 奈々/内科医師（呼吸器科）、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 泉川 公一/長崎大学感染制御センター長、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 古林 正和/長崎大学病院内科での勤務経験、糖尿病診療/糖尿病診療での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 吉村 篤利/歯科医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 木下 裕久/長崎大学病院精神科での勤務経験/保健医療専門職として、対象地域および集団の特性を把握し、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 小川 さやか/長崎大学保健センターでの勤務経験/公認心理師として実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 木下 郁夫/長崎県赤十字血液センター所長/長崎県赤十字血液センター所長の実務経験を活かして、本授業で取り上げる生活習慣病としての「がん」の要因には、B型およびC型肝炎ウイルスといった血液を介した感染があり、血液についての基本的知識およびそれと関連した長崎県内の輸血や献血の現状について、血液の専門家からの講義。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 / 10月2日	感染症関連：総論
第2回 / 10月16日	感染症関連：感染症の歴史
第3回 / 10月23日	感染症関連：性感染症（青年期の性）
第4回 / 10月30日	感染症関連：細菌・ウイルス・真菌・寄生虫
第5回 / 11月6日	感染症関連：感染制御・予防・治療
第6回 / 11月13日	：青年期に健康を考える ：歯と歯ぐきの健康
第7回 / 11月20日	：心の健康（1）うつ病関連 ：心の健康（2）ストレスマネジメント
第8回 / 11月27日	：生活習慣病 ：血液

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230562001109	科目番号 / Course code	05620011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 11111_024		
授業科目名 / Course title	●健康科学 (F1~F3) / Health Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 木下 郁夫 / Kinoshita Ikuo, 小川 さやか / Ogawa Sayaka, 山本 太郎 / Yamamoto Taro, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 中道 聖子 / Nakamichi Seiko, 松裏 貴史 / Matsura Takashi, 中田 奈々, 江藤 宏美 / Eto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古林 正和 / Kobayashi Masakazu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 木下 郁夫 / Kinoshita Ikuo, 小川 さやか / Ogawa Sayaka, 山本 太郎 / Yamamoto Taro, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 中道 聖子 / Nakamichi Seiko, 松裏 貴史 / Matsura Takashi, 中田 奈々, 江藤 宏美 / Eto		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	F1~F3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	masakazu-f328▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	保健センター		
担当教員TEL / Tel	095-819-2213		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日16時~17時		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。		
授業到達目標 / Course goals	感染症に対する理解を深めるとともに, 生涯に亘る健康の維持・増進のために, 「健康とは何か」を考え, 青年期から適切な生活習慣を確立することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	毎週の授業ごとの課題 (レポートもしくは小テスト) により評価する。各週の課題は, 10点満点で評価し, 8回の合計が80点満点のうち6割 (48点) 以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容 / Preparation & Review	講義で取り扱うテーマについて、中学校で学習したレベルでよいので、自身の興味ある範囲で予備知識を整理しておく。毎回授業後に課題 (レポートもしくは小テスト) を提出することが復習となる。(4h)		
キーワード / Keywords	健康, 予防, 感染症, 生活習慣, ライフサイクル, 心の健康, 青年期の性, 歯周病		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書の指定はない。 プリント資料, スライド, ビデオ, 事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類, 各自の入学時健康診断結果等を使用する。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考/Remarks	健康科学の講義は全てオンライン（オンデマンドもしくはリアルタイム）で実施。 オンライン講義の実施方法（オンデマンドかリアルタイム）はLACSにて連絡予定。
学生へのメッセージ/Message for students	課題（レポートもしくは小テスト）の提出がなければ出席したと見なされないで、出席したら必ず課題を提出してください。全8回しかありません。8回中3回以上の未提出があると「失格」となってしまいます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	中道 聖子/長崎大学病院総合診療科での勤務経験、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 山本 太郎/長崎大学熱帯医学研究所での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 江藤 宏美/看護師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 中田 奈々/内科医師（呼吸器科）、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 泉川 公一/長崎大学感染制御センター長、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 古林 正和/長崎大学病院内科での勤務経験、糖尿病診療/糖尿病診療での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 松裏 貴史/歯科保存治療室での勤務経験/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 木下 裕久/長崎大学病院精神科での勤務経験/保健医療専門職として、対象地域および集団の特性を把握し、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 小川 さやか/長崎大学保健センターでの勤務経験/公認心理師として実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 木下 郁夫/長崎県赤十字血液センター所長/長崎県赤十字血液センター所長の実務経験を活かして、本授業で取り上げる生活習慣病としての「がん」の要因には、B型およびC型肝炎ウィルスといった血液を介した感染があり、血液についての基本的知識およびそれと関連した長崎県内の輸血や献血の現状について、血液の専門家からの講義。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 / 10月3日	感染症関連：総論
第2回 / 10月10日	感染症関連：感染症の歴史
第3回 / 10月17日	感染症関連：性感染症（青年期の性）
第4回 / 10月24日	感染症関連：細菌・ウイルス・真菌・寄生虫
第5回 / 10月31日	感染症関連：感染制御・予防・治療
第6回 / 11月7日	：青年期に健康を考える ：歯と歯ぐきの健康
第7回 / 11月14日	：心の健康（１）うつ病関連 ：心の健康（２）ストレスマネジメント
第8回 / 11月21日	：生活習慣病 ：血液

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230562001110	科目番号 / Course code	05620011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 11111_024		
授業科目名 / Course title	●健康科学 (L2~L4) / Health Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 木下 郁夫 / Kinoshita Ikuo, 小川 さやか / Ogawa Sayaka, 山本 太郎 / Yamamoto Taro, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 中道 聖子 / Nakamichi Seiko, 松裏 貴史 / Matsuura Takashi, 神徳 備子, 中田 奈々		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古林 正和 / Kobayashi Masakazu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 木下 郁夫 / Kinoshita Ikuo, 小川 さやか / Ogawa Sayaka, 山本 太郎 / Yamamoto Taro, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 中道 聖子 / Nakamichi Seiko, 松裏 貴史 / Matsuura Takashi, 神徳 備子, 中田 奈々		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	L2~L4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masakazu-f328▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	保健センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2213		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16時~17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。		
授業到達目標/Course goals	感染症に対する理解を深めるとともに,生涯に亘る健康の維持・増進のために,「健康とは何か」を考え,青年期から適切な生活習慣を確立することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎週の授業ごとの課題 (レポートもしくは小テスト) により評価する。各週の課題は,10点満点で評価し,8回の合計が80点満点のうち6割 (48点) 以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	講義で取り扱うテーマについて、中学校で学習したレベルでよいので、自身の興味ある範囲で予備知識を整理しておく。毎回授業後に課題 (レポートもしくは小テスト) を提出することが復習となる。(4h)		
キーワード/Keywords	健康, 予防, 感染症, 生活習慣, ライフサイクル, 心の健康, 青年期の性, 歯周病		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書の指定はない。 プリント資料, スライド, ビデオ, 事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類, 各自の入学時健康診断結果等を使用する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考/Remarks	健康科学の講義は全てオンライン（オンデマンドもしくはリアルタイム）で実施。 オンライン講義の実施方法（オンデマンドかリアルタイム）はLACSにて連絡予定。
学生へのメッセージ/Message for students	課題（レポートもしくは小テスト）の提出がなければ出席したと見なされないで、出席したら必ず課題を提出してください。全8回しかありません。8回中3回以上の未提出があると「失格」となってしまいます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	中道 聖子/長崎大学病院総合診療科での勤務経験、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 山本 太郎/長崎大学熱帯医学研究所での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 神徳 備子/看護師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 中田 奈々/内科医師（呼吸器科）、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 泉川 公一/長崎大学感染制御センター長、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 古林 正和/長崎大学病院内科での勤務経験、糖尿病診療/糖尿病診療での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 松裏 貴史/歯科保存治療室での勤務経験/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 木下 裕久/長崎大学病院精神科での勤務経験/保健医療専門職として、対象地域および集団の特性を把握し、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 小川 さやか/長崎大学保健センターでの勤務経験/公認心理師として実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 木下 郁夫/長崎県赤十字血液センター所長/長崎県赤十字血液センター所長の実務経験を活かして、本授業で取り上げる生活習慣病としての「がん」の要因には、B型およびC型肝炎ウィルスといった血液を介した感染があり、血液についての基本的知識およびそれと関連した長崎県内の輸血や献血の現状について、血液の専門家からの講義。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 / 10月3日	感染症関連：総論
第2回 / 10月10日	感染症関連：感染症の歴史
第3回 / 10月17日	感染症関連：性感染症（青年期の性）
第4回 / 10月24日	感染症関連：細菌・ウイルス・真菌・寄生虫
第5回 / 10月31日	感染症関連：感染制御・予防・治療
第6回 / 11月7日	：青年期に健康を考える ：歯と歯ぐきの健康
第7回 / 11月14日	：心の健康（１）うつ病関連 ：心の健康（２）ストレスマネジメント
第8回 / 11月21日	：生活習慣病 ：血液

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230562001111	科目番号 / Course code	05620011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 11111_024		
授業科目名 / Course title	●健康科学 (J1~J3) / Health Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 藤田 和佳子, 木下 郁夫 / Kinoshita Ikuo, 小川 さやか / Ogawa Sayaka, 山本 太郎 / Yamamoto Taro, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 中道 聖子 / Nakamichi Seiko, 山下 恭徳 / Yamashita Yasunori, 中田 奈々		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古林 正和 / Kobayashi Masakazu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 藤田 和佳子, 木下 郁夫 / Kinoshita Ikuo, 小川 さやか / Ogawa Sayaka, 山本 太郎 / Yamamoto Taro, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 中道 聖子 / Nakamichi Seiko, 山下 恭徳 / Yamashita Yasunori, 中田 奈々		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	J1~J3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masakazu-f328▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	保健センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2213		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16時~17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。		
授業到達目標/Course goals	感染症に対する理解を深めるとともに,生涯に亘る健康の維持・増進のために,「健康とは何か」を考え,青年期から適切な生活習慣を確立することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎週の授業ごとの課題 (レポートもしくは小テスト) により評価する。各週の課題は,10点満点で評価し,8回の合計が80点満点のうち6割 (48点) 以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	講義で取り扱うテーマについて、中学校で学習したレベルでよいので、自身の興味ある範囲で予備知識を整理しておく。毎回授業後に課題 (レポートもしくは小テスト) を提出することが復習となる。(4h)		
キーワード/Keywords	健康, 予防, 感染症, 生活習慣, ライフサイクル, 心の健康, 青年期の性, 歯周病		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書の指定はない。 プリント資料, スライド, ビデオ, 事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類, 各自の入学時健康診断結果等を使用する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	健康科学の講義は全てオンライン（オンデマンドもしくはリアルタイム）で実施。 オンライン講義の実施方法（オンデマンドかリアルタイム）はLACSにて連絡予定。
学生へのメッセージ/Message for students	課題（レポートもしくは小テスト）の提出がなければ出席したと見なされないの、出席したら必ず課題を提出してください。全8回しかありません。8回中3回以上の未提出があると「失格」となってしまいます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	中道 聖子/長崎大学病院総合診療科での勤務経験、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。 / 山本 太郎/長崎大学熱帯医学研究所での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。 / 藤田 和佳子/助産師/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。 / 中田 奈々/内科医師（呼吸器科）、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。 / 泉川 公一/長崎大学感染制御センター長、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。 / 古林 正和/長崎大学病院内科での勤務経験、糖尿病診療/糖尿病診療での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。 / 山下 恭徳/歯科保存治療室での勤務経験/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。 / 木下 裕久/長崎大学病院精神科での勤務経験/保健医療専門職として、対象地域および集団の特性を把握し、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。 / 小川 さやか/長崎大学保健センターでの勤務経験/公認心理師として実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。 / 木下 郁夫/長崎県赤十字血液センター所長/長崎県赤十字血液センター所長の実務経験を活かして、本授業で取り上げる生活習慣病としての「がん」の要因には、B型およびC型肝炎ウィルスといった血液を介した感染があり、血液についての基本的知識およびそれと関連した長崎県内の輸血や献血の現状について、血液の専門家からの講義。 /
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 / 10月4日	感染症関連：総論
第2回 / 10月11日	感染症関連：感染症の歴史
第3回 / 10月18日	感染症関連：性感染症（青年期の性）
第4回 / 10月25日	感染症関連：細菌・ウイルス・真菌・寄生虫
第5回 / 11月1日	感染症関連：感染制御・予防・治療
第6回 / 11月8日	: 青年期に健康を考える : 歯と歯ぐきの健康
第7回 / 11月15日	: 心の健康（1）うつ病関連 : 心の健康（2）ストレスマネジメント
第8回 / 11月22日	: 生活習慣病 : 血液

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230562001112	科目番号 / Course code	05620011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 11111_024		
授業科目名 / Course title	●健康科学 (T4~T6) / Health Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 木下 郁夫 / Kinoshita Ikuo, 小川 さやか / Ogawa Sayaka, 山本 太郎 / Yamamoto Taro, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 中道 聖子 / Nakamichi Seiko, 神徳 備子, 中田 奈々, 尾崎 幸生 / Ozaki Yukio		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古林 正和 / Kobayashi Masakazu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 木下 郁夫 / Kinoshita Ikuo, 小川 さやか / Ogawa Sayaka, 山本 太郎 / Yamamoto Taro, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 中道 聖子 / Nakamichi Seiko, 神徳 備子, 中田 奈々, 尾崎 幸生 / Ozaki Yukio		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	T4~T6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masakazu-f328▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	保健センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2213		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16時~17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。		
授業到達目標/Course goals	感染症に対する理解を深めるとともに,生涯に亘る健康の維持・増進のために,「健康とは何か」を考え,青年期から適切な生活習慣を確立することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎週の授業ごとの課題 (レポートもしくは小テスト) により評価する。各週の課題は,10点満点で評価し,8回の合計が80点満点のうち6割 (48点) 以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	講義で取り扱うテーマについて、中学校で学習したレベルでよいので、自身の興味ある範囲で予備知識を整理しておく。毎回授業後に課題 (レポートもしくは小テスト) を提出することが復習となる。(4h)		
キーワード/Keywords	健康, 予防, 感染症, 生活習慣, ライフサイクル, 心の健康, 青年期の性, 歯周病		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書の指定はない。 プリント資料, スライド, ビデオ, 事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類, 各自の入学時健康診断結果等を使用する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考/Remarks	健康科学の講義は全てオンライン（オンデマンドもしくはリアルタイム）で実施。 オンライン講義の実施方法（オンデマンドかリアルタイム）はLACSにて連絡予定。
学生へのメッセージ/Message for students	課題（レポートもしくは小テスト）の提出がなければ出席したと見なされないで、出席したら必ず課題を提出してください。全8回しかありません。8回中3回以上の未提出があると「失格」となってしまいます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	中道 聖子/長崎大学病院総合診療科での勤務経験、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 山本 太郎/長崎大学熱帯医学研究所での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 神徳 備子/看護師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 中田 奈々/内科医師（呼吸器科）、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 泉川 公一/長崎大学感染制御センター長、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 古林 正和/長崎大学病院内科での勤務経験、糖尿病診療/糖尿病診療での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 尾崎 幸生/長崎大学病院歯科保存治療室での勤務経験/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 木下 裕久/長崎大学病院精神科での勤務経験/保健医療専門職として、対象地域および集団の特性を把握し、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 小川 さやか/長崎大学保健センターでの勤務経験/公認心理師として実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 木下 郁夫/長崎県赤十字血液センター所長/長崎県赤十字血液センター所長の実務経験を活かして、本授業で取り上げる生活習慣病としての「がん」の要因には、B型およびC型肝炎ウィルスといった血液を介した感染があり、血液についての基本的知識およびそれと関連した長崎県内の輸血や献血の現状について、血液の専門家からの講義。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 / 9月28日	感染症関連：総論
第2回 / 10月5日	感染症関連：感染症の歴史
第3回 / 10月12日	感染症関連：性感染症（青年期の性）
第4回 / 10月19日	感染症関連：細菌・ウイルス・真菌・寄生虫
第5回 / 10月26日	感染症関連：感染制御・予防・治療
第6回 / 11月2日	：青年期に健康を考える ：歯と歯ぐきの健康
第7回 / 11月9日	：心の健康（１）うつ病関連 ：心の健康（２）ストレスマネジメント
第8回 / 11月16日	：生活習慣病 ：血液

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230562001113	科目番号 / Course code	05620011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 11111_024		
授業科目名 / Course title	●健康科学 (M4 ~ M6・D1・D2) / Health Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 木下 郁夫 / Kinoshita Ikuo, 小川 さやか / Ogawa Sayaka, 永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki, 山本 太郎 / Yamamoto Taro, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 中道 聖子 / Nakamichi Seiko, 山下 恭徳 / Yamashita Yasunori, 中田 奈々		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古林 正和 / Kobayashi Masakazu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 木下 郁夫 / Kinoshita Ikuo, 小川 さやか / Ogawa Sayaka, 永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki, 山本 太郎 / Yamamoto Taro, 泉川 公一 / Izumikawa Koichi, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 中道 聖子 / Nakamichi Seiko, 山下 恭徳 / Yamashita Yasunori, 中田 奈々		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	M4 ~ M6・D1・D2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masakazu-f328▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	保健センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2213		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16時 ~ 17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。		
授業到達目標/Course goals	感染症に対する理解を深めるとともに,生涯に亘る健康の維持・増進のために,「健康とは何か」を考え,青年期から適切な生活習慣を確立することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎週の授業ごとの課題 (レポートもしくは小テスト) により評価する。各週の課題は,10点満点で評価し,8回の合計が80点満点のうち6割 (48点) 以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	講義で取り扱うテーマについて、中学校で学習したレベルでよいので、自身の興味ある範囲で予備知識を整理しておく。毎回授業後に課題 (レポートもしくは小テスト) を提出することが復習となる。(4h)		
キーワード/Keywords	健康, 予防, 感染症, 生活習慣, ライフサイクル, 心の健康, 青年期の性, 歯周病		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書の指定はない。 プリント資料, スライド, ビデオ, 事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類, 各自の入学時健康診断結果等を使用する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	健康科学の講義は全てオンライン（オンデマンドもしくはリアルタイム）で実施。 オンライン講義の実施方法（オンデマンドかリアルタイム）はLACSにて連絡予定。
学生へのメッセージ/Message for students	課題（レポートもしくは小テスト）の提出がなければ出席したと見なされないの、出席したら必ず課題を提出してください。全8回しかありません。8回中3回以上の未提出があると「失格」となってしまいます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	中道 聖子/長崎大学病院総合診療科での勤務経験、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 山本 太郎/長崎大学熱帯医学研究所での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 永橋 美幸/長崎大学病院産婦人科および小児科での勤務経験/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 中田 奈々/内科医師（呼吸器科）、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 泉川 公一/長崎大学感染制御センター長、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 古林 正和/長崎大学病院内科での勤務経験、糖尿病診療/糖尿病診療での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 山下 恭徳/歯科保存治療室での勤務経験/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 木下 裕久/長崎大学病院精神科での勤務経験/保健医療専門職として、対象地域および集団の特性を把握し、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 小川 さやか/長崎大学保健センターでの勤務経験/公認心理師として実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 木下 郁夫/長崎県赤十字血液センター所長/長崎県赤十字血液センター所長の実務経験を活かして、本授業で取り上げる生活習慣病としての「がん」の要因には、B型およびC型肝炎ウイルスといった血液を介した感染があり、血液についての基本的知識およびそれと関連した長崎県内の輸血や献血の現状について、血液の専門家からの講義。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 / 9月28日	感染症関連：総論
第2回 / 10月5日	感染症関連：感染症の歴史
第3回 / 10月12日	感染症関連：性感染症（青年期の性）
第4回 / 10月19日	感染症関連：細菌・ウイルス・真菌・寄生虫
第5回 / 10月26日	感染症関連：感染制御・予防・治療
第6回 / 11月2日	：青年期に健康を考える ：歯と歯ぐきの健康
第7回 / 11月9日	：心の健康（１）うつ病関連 ：心の健康（２）ストレスマネジメント
第8回 / 11月16日	：生活習慣病 ：血液